

3号機 原子炉内での異物確認について

平成 20 年 3 月 21 日

発生号機	3号機（定期点検中） ：沸騰水型、定格電気出力110万キロワット
発生日月	平成20年3月20日
状況	昨日（3月20日）、3号機原子炉建屋4階（放射線管理区域内）において、原子炉への燃料装荷が終了した後の炉内確認作業（※1）を行っていたところ、午後1時55分頃にひも状の異物を当社社員が確認しました。 その後、午後4時25分頃、遠隔用つかみ具を用いて回収しました。 なお、回収した異物は、長さ約84cm、太さ約3mmのビニール製のひもでした。
放射能の影響	本事象による外部への放射能の影響はありません。 また、作業者等への被ばくはありません。
原因	原子炉建屋4階面で作業に用いるケーブル類を束ねるために使用していたものが落下したものと推定しました。
対策	異物侵入防止対策の周知・徹底を行います。
お知らせ基準	「表2-8 原子炉又は使用済燃料貯蔵プールで異物を発見したとき又は混入したとき。圧力抑制室等に異物を発見したとき」に該当します。

※1 原子炉内に装荷された燃料の状況を確認する作業です。

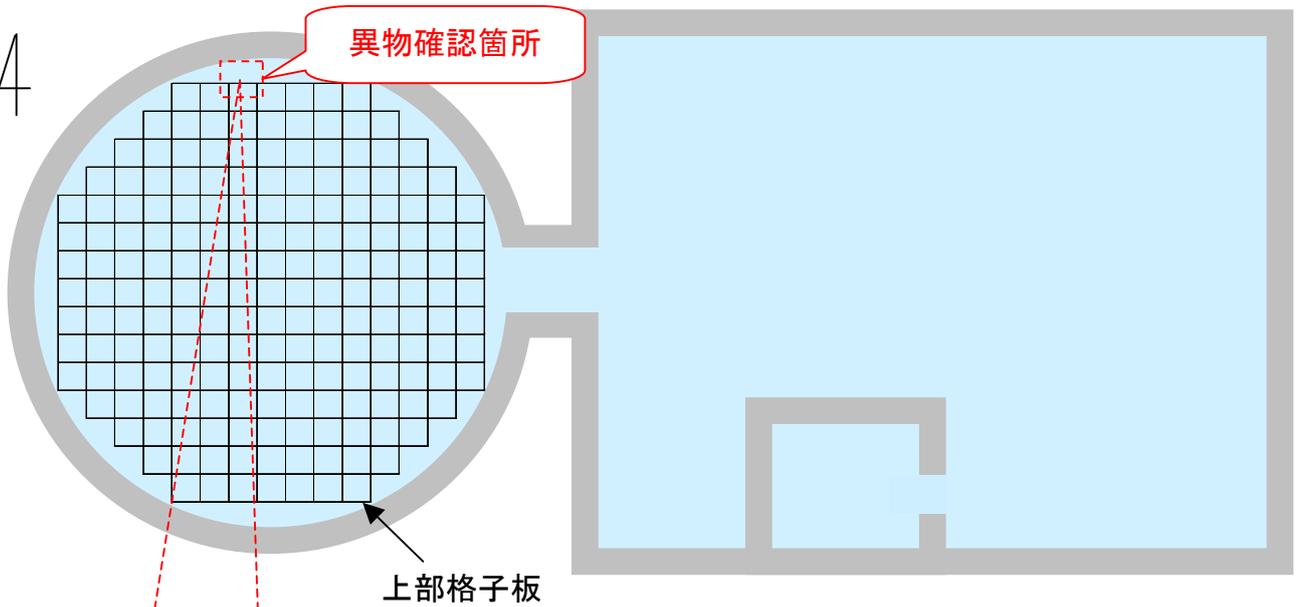
以上

◆異物確認位置

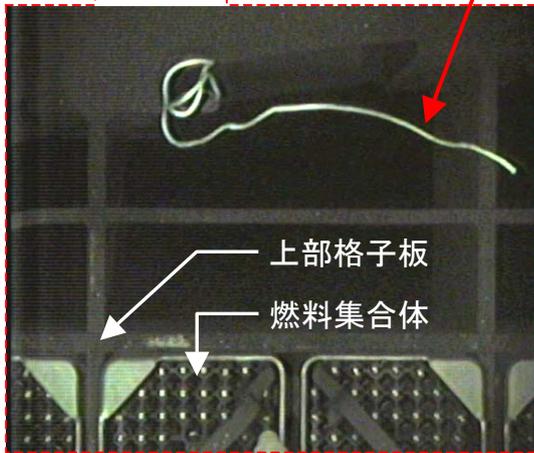
3号機 原子炉

燃料プール

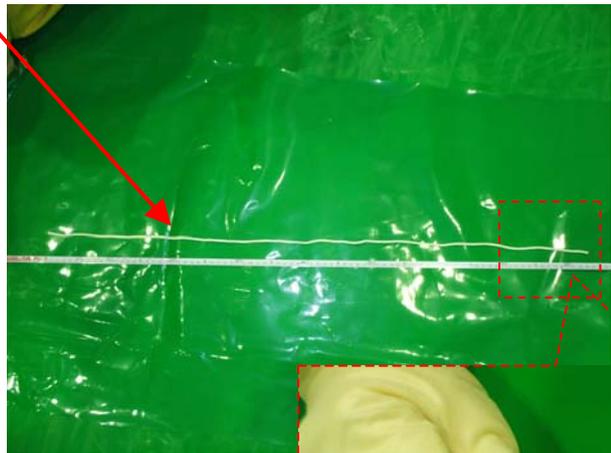
4



異物



【原子炉内の異物確認状況】



【回収した異物】



確認・回収した異物

〔ビニール製のひも
長さ:約84cm、太さ:約3mm〕